

特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター
2020年度 事業報告

事業名	サブリ村野受付事業							事業担当	受付職員、重村、花田				
事業目的・趣旨	枚方市公共スポーツ施設及び文化施設の運営管理												
本年度 重点取り組み	・利用者に対しての安全配慮の取り組み：無事故日数の継続 ・両施設の利用率向上												
2020 年度計画													
項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
日々管理/利用者対応	N P O 3/10～6/14 まで利用								NPO・スポーツ共に 12/7～2/28 まで 利用中止			→	
	多目的・体育館 3/10～6/14 まで利用中止												
月切り集計	運動広場 4/9～												→
	5/31 まで利用中止												
受付職員面談（研修）				7/28 情報 共有会議								○ FB	

※毎月の施設利用状況は別紙にて管理

FB：フィードバック

〔成果〕・2020 年 3 月からの急なコロナ対策の要請に対して、職員で協力し合い、利用者への対応ができた。

（コロナ関連での追加業務：利用中止の電話連絡、注意喚起掲示物の設置、机・椅子の消毒、手指消毒液の設置、備品使用消毒グッズの準備と貸出、注意喚起の放送）

- ・NPOセンター 2019 年 平均利用率 42.9% → 2020 年 平均利用率 24.7%（利用中止期間含む） 37.0%（利用可能時の平均）
- ・スポーツセンター2019 年 平均利用率 86.6% → 2020 年 平均利用率 57.8%（利用中止期間含む） 77.1%（利用可能時の平均）

〔課題〕・10 月からの利用再開で、NPO センターの定員が元通りに戻ったが、密になるのを避けて、他の会場を借りている団体も見受けられた。

- ・依然、職員の不安が完全に払拭された訳ではないので、引き続き、コロナ情勢に鑑みて、安全・安心な職場の環境づくりを整えていきたい。

事業名	学びの広場事業					事業担当	中野、花田					
事業目的・趣旨	・ 市民活動やN P Oを対象とした各種講座、講習会等の開催をする。 ・ サプリ村野N P Oセンターで活動する団体を増やすために、サプリ村野学校を開催する。											
本年度 重点取組み	・ 団体のニーズを確認し、必要な講座を開催していく。また、今の時代に応じたN P O ・ 市民活動の講座を提案していく。 ・ 次年度に向けて「サプリ村野学校」の方向性を検討し、行政に事業提案をしていく。											
2020 年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① N P O講座	講師 選 び		(NPO 内部研修)	「N P O 基礎講座」 実施 (内部研修)	企画	依頼		ボラン ティア基 礎 講座	N P O 講座			
	→											
② マネジメント講座				WEB 講座	S D G s 講座 実施 (内部研修)	オンライン 講座実施 「国境なき 医師団活動 報告会」		広報講座			S - D - G s 講座	
③ サプリ村野学校							7 講座	1 講座	2 講座	5 講座		11 講座

【成果】

- ① 7/28 に内部研修「NPO 基礎講座」実施、15 人参加。11/21 に「人生が（たぶん、少し）豊かになるボランティア基礎講座」実施、17 人参加。
- ② 8/31 に内部研修「SDGs カードゲーム体験会」実施、7 人参加。
9/13 に当センター初の一般向けオンライン講座「国境なき医師団活動報告会～最貧国マラウイの現状～」実施、22 人参加。
- ③ 10 月、11 月に 5 団体 8 講座実施、92 人参加。3 月に 4 団体 11 講座実施、70 人参加。

【課題】

- ① 市の所管施設の利用中止期間でも提供できる企画・開催方式の検討。
- ② オンライン講座運営スキルの向上。
- ③ 2022 年度の開催形態を検討。

事業名	防災災害支援事業						事業担当	渡邊、松元、重村				
事業目的・趣旨	・ 防災に関する調査研究と成果の発信を行う。 ・ 防災に関する事業の企画・実施及び実施に伴う関係機関との連絡調整を行う。 ・ 東日本大震災の被災地などに対し、継続的な支援を行う。											
本年度 重点取り組み	・ 防災・啓発活動に積極的に参加できる次世代を育成する。 ・ 市の担当課との交流、情報交換を通じて、災害時におけるひらかた市民活動支援センターとしての体制・活動方針を考える。 ・ 防災小学校のプログラムを団体と共にブラッシュアップしていく。											
2020 年度計画												
項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
防災小学校 校区・自治会の防災訓練等												
	コロナ禍で、緊急事態宣言、外出自粛のため、全て中止											
防災学校・講座 (ひらせん主催)						防災ミー ティング (風水害) 9/5・12					ひらかた 防災学校 2/6～12	
自主研修・交流会			災害ボランティア コーディネーション集 中講義 6/18,25 7/1			災害ボラン ティア関係 団体研修会 9/4	シンポジウム「with コロナ時代におけ る災害時の助け合 いや危機管理を考 える」10/10	吹田災害ネ ットワーク 11/17 バーチャル ツアー岩手 11/28	バーチャル ツアー宮城 12/5 福島 12/12		交流会 2/12 「クロスロー ドゲームオン ラインチャレ ンジ2/20	3.11 KANSAI 2021 3/1～7
被災地支援（物産販売）											受注販売	
ミーティング等	えんともミーティング：4/4,7/18,8/8,9/17,10/17,12/21,3/6(7 回)、防災小学校企画委員会：8/14,9/11,10/23,11/20,12/18,1/15,2/19(7 回)											

〔成果〕・コロナ禍で、校区の自主防災訓練や、その他防災小学校事業は、全て中止となり、ほとんどが次年度へ延期となった。

- ・ 9 月に、急きょオンラインで、風水害についての防災ミーティングができたことはよかった。（参加：第 1 回 8 人、第 2 回 6 人）
- ・ ひらかた防災学校は、すべてオンラインでの開催となったが、当初動画作成をしぶっていた団体も、最終的には参加できた。何度でも見返せる動画に関して、団体や参加者からの反応は良く、オンラインの可能性を感じた。最初の 2 日間を、Zoom と YouTube で LIVE 配信ができたことは、大きな収穫となった。
2/6(土)：Zoom 参加 16 人、YouTube 視聴 15 人 2/7(日)：Zoom 参加 26 人、YouTube 視聴 6 人（※Zoom はのべ人数）
2/6 以降にひらかた市民活動支援センター YouTube チャンネルでアーカイブ公開（2 月末まで）。2/28 時点での総再生回数：779 回。

〔課題〕・イベントが開催できず、被災地の物産を販売できなかった。受注販売も、外出自粛中では難しかった。今後、被災地とどう向き合うかが課題。

- ・ 少しずつ進んではきているが、当センターが災害時に何をすべきか、どういう体制でいるのかについて、行政や社協とも協議し、早急に決めていく必要がある。

事業名	多様な人たちが地域課題などを考える場の事業						事業担当	松元、中野、松宮				
事業目的・趣旨	・グループディスカッション等の企画・運営〔中学生ディスカッション〕〔井戸端会議〕 ・市民活動に関する研修〔人材育成〕 ・市民活動への参加に向けた支援〔井戸端会議〕											
本年度 重点取り組み	・高校生・大学生によるディスカッション等の検討・実施 ・ゲスト式井戸端会議の検討・企画・実施											
2020 年度計画												
項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
① 中学生を対象としたディスカッション等の企画運営				中学生 SDGs カードゲーム体験会			対面型ファシリテーター研修会	出張型中学生ディスカッション実施	間接対面型ファシリテーター研修会	間接対面型中学生ディスカッション実施 (計 2 回)		
② 高校生・大学生等を対象としたディスカッション等の企画運営			ファシリテーター交流会	SDGs カードゲーム体験会実施		高 校 訪 問	実施	高校生・大学生ディスカッション実施		高校生・大学生ディスカッションアクション準備編実施 ファシリテーター交流会		
③ まちづくり井戸端会議		実施	WEB 端 会 議 実 施 (2 回)	ゲスト式検討・ 企画・ WEB 端会議実施 (2 回)	WEB 端 会 議 実 施	WEB 端 会 議 実 施	WEB 端 会 議 実 施	対面式(ゲスト スピーカー)実 施	WEB 端 会 議 実 施	WEB 端 会 議 実 施	WEB 端 会 議 実 施	対面式(ゲ ストスピー カー)実 施

〔成果〕オンラインを活用してコロナ禍においても継続して「地域課題などを考える場」を提供することができた。

- ①11/11 に中学校への出張型ディスカッション 1 校実施。新規大学生ファシリテーターとして関西外国語大学の学生 9 人が参加。2 月と 3 月にオンラインによる間接対面型中学生ディスカッションを実施。(ゲストスピーカー：Join ネイチャースクール山口遼太代表、伏見隆枚方市長) 延べ参加人数 47 人。
- ②11/14 に高校生・大学生ディスカッション「Think 編」を実施。32 人参加。その際に出た課題の解決に向けてアクションを起こす予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大により「アクション準備編」として 1/23 から 3/20 にかけて 2 チームにわかれてオンラインで活動。11 人が参加。
- ③6 月～2 月に計 10 回オンライン会議システム Zoom による「WEB 端会議」実施。延べ参加人数 80 人。11 月と 3 月に計 2 回対面式を実施(ゲストスピーカー：近畿大学久隆浩教授) 延べ参加人数 26 人。

〔課題〕①参加者に対する連絡手段(学校を介さない)について検討が必要。

- ②高校生・ファシリテーター・事務局の意思疎通や「取り組みたいアクション」の検討・実践していくためのプロセスづくりを行う。
- ③今後の開催形式を検討。

事業名	多様な主体(NPO、コミュニティ、学校、企業、行政等)の交流機会の提供事業							事業担当	津熊、松元、重村			
事業目的・趣旨	・多様な主体(NPO、コミュニティ、学校、企業、行政等)との協働事業の研修・研究〔意見交換会〕 ・多様な主体(NPO、コミュニティ、学校、企業、行政等)との協働事業の企画・調整											
本年度 重点取り組み	・協働・共助という観点で、行政との情報共有の場として意見交換会を開催する											
2020 年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行政と NPO の意見交換会			打合せ			9/7 打合せ	第1回		12/4 第1回	第2回	2/12 第2回	
「協働に関する勉強会」						NPO と行政 の対話を促進 するための 連続講座 (オンライン) 9/25	NPO と行政 の対話を促進 するための 連続講座 (オンライン) 10/2、10/16					

〔成果〕・9月の初めに、今年度の NPO と行政の意見交換会についての打合せを行い、NPO 側からも、希望のテーマ内容や、話を聞きたい担当課について、積極的に提案していくことで、win-win の関係で意見交換を開催していくことで合意した。

- ・今年度は、コロナ禍で、施設利用中止等があり、予定の1回分が中止となったが、次年度早々に開催することになった。
- ・第1回目は、久しぶりの開催で、以前参加した団体のみ声をかけたが、いろんな分野の団体が集まったことで、議論が深まった。
- ・第2回目の防災をテーマにした会は、以前から行っている交流会のメンバーで、顔見知りであることで、お互い忌憚なく意見の交換ができた。
 - 第1回 ひらかたの魅力発信について～東部地域の里山・枚方の歴史～【みち・みどり室、文化財課】・・・12/4(金)開催。10 団体 14 人参加。
 - 第2回 枚方市周辺の「まちの価値」を高める取り組みについて【市駅周辺等まち活性化部】1月 →中止。2021 年度にテーマそのままで開催予定。
 - 第2回 災害対応における地域との連携について【危機管理室】2/12
- ・オンラインセミナーではあるが、職員を中心に、行政との協働に関する講座を受講し、協働に関してなどを研修することができた。

〔課題〕・今後は、テーマとは直接関係のない団体に参加してもらい、違う視点の意見を取り入れることも必要。

- ・参加団体数や人数が多いことはよいが、議論の仕方に工夫が必要。(例：グループディスカッション、ワールドカフェ方式など)
- ・意見交換会で出た意見が、実際の市の事業として、どう反映していくのか、継続した会の希望の声が多かったため、同じメンバーにも声かけは必要。

事業名	相談・ネットワークルーム管理事業							事業担当	職員			
事業目的・趣旨	N P Oに関する総合情報センターとしての市民活動ネットワークルームを管理運営する。											
本年度 重点取組み	・複数で相談対応を行い、スタッフ間で共有しながら相談者へのサポート体制をつくる。 ・さまざまな相談ケースに備えて、内部研修も行いながら、スタッフのスキルアップを目指す。											
2020 年度計画												
項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
相談対応	随時											
ネットワークルーム管理												
運営委員会（月 1 回）	未開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

〔成果〕【相談対応】・今年度から、相談対応をデータ化して、職員で共有できるようにした。

・4・5月は、持続化給付金・総会が開催できない時の対応等、コロナ関係の問い合わせ対応が多かった。

・【WEB】ひらかた NPO フェスタの動画を見て団体を紹介してほしい、という問い合わせがあった。

〈2020 年度〉151 件

相談者	登録 団体	未登録 団体	個人	行政	企業	学校	その他 ※1	計	相談 内容	団体 紹介	問合せ 要請	組織 運営	NPO	法人格 取得	ボラン ティア	その他 ※2	計
人数	55	12	25	15	12	3	29	151	件数	14	59	14	0	4	5	55	151

※1：他府県中間支援団体など、※2：備品寄贈、FM出演依頼、コロナ関連、ひらせん事業関連など

【ネットワークルーム利用】・コロナ対策として、利用再開されても、ネットワークルーム内の椅子を減らし、不用意に人が集まることがないように対策をとった。

〈2020 年度〉1318 人（昨年度より 25%減）

分類	一般（市民、 業者その他）	ひらせん関係（団体・ ボランティア）	計
人数	471	847	1318

〔課題〕・10 月から施設利用などが緩和されているが、ネットワークルームとしては、まだまだ感染対策としての対応を続けていきたい。

・相談対応については共有を始めたが、職員間でフィードバックできる場を作っていきたい。

事業名	フェスタ事業						事業担当	渡邊、中川、中野				
事業目的・趣旨	イベントの主催及び実践による市民への NPO 活動の啓蒙と周知を図る。 実行委員会を運営することで登録団体の協働力を高める。											
本年度 重点取組み	1. 枚方市を中心に活動する NPO の元気さと有用性を地域社会に発信する。 2. NPO・市民活動団体が相互に支え合う仕組みづくりの一機会とする。 3. 多様な人々の市民活動への参画と協働の場として持続可能な地域社会づくりを目指す。											
2020 年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ひらかた NPO フェスタ						9/27						
実行委員会の開催	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	報告					
事務局の運営	→											
【WEB】ひらかた NPO フェスタ	素案検討 →		企画・立案 →	個別打ち 合わせ →	動 画 撮 影 →	動画編集 → WEB 端 会議			動画完成 → 試写会	動画配信 1/24 WEB フェ スタ通信 発行 →		3/31 →
21 年度推進						会場と日 程仮決め		会場と日 程仮決め 9/26(日)			素案検討	企画 立案

〔成果〕

- * 新型コロナウイルス感染症拡大防止対応による「9/30 までに開催予定の枚方市主催・共催等のイベント中止」の通達を受け、当初予定の 9/27(日)開催はやむなく中止。
- * テーマに沿った団体活動等の動画作成と市民への動画配信を行う【WEB】ひらかた NPO フェスタ」を実施。参加 35 団体・40 動画。8、9 月に撮影実施。編集作業を経て YouTube にて 1/24 公開。3/31 まで動画配信。総視聴数 3068 回（4/1 現在）。
- * 団体活動と SDGs を関連付け、SDGs に対する団体への啓蒙と一般への周知を行い、団体・市民が SDGs を自分事としてとらえるきっかけを提供。
- * 対面式での実行委員会開催はできなかったが、9/26(土)にフェスタ参加団体限定 WEB 端会議（WEB 版まちづくり井戸端会議）を開催し、1 月から 3 月に WEB フェスタ通信(毎週発行ニュースレター)を 7 回発行し、WEB 上で実行委員会内情報共有・交流を実施。フェスタ事務局会議は 12 回実施。

〔課題〕

- * 2021 年度の開催形式は、対面式と WEB 併用開催を検討。

事業名	留守家庭児童会室市民参画事業					事業担当	津熊、重村						
事業目的・趣旨	・留守家庭児童会室の児童を対象に行事を実施するにあたり、子育てに関心を持つ地域の人材に参画を求めることにより、地域の子育て力を向上させることを目的とする。 ・市民が関わってもらいやすい留守家庭児童会室の行事の企画・運営を行う事業として実施する。 ・ひらかた市民活動支援センター登録団体がイベントを企画・実施し、団体の PR とともに、活動の幅を広げる一助とする。												
本年度 重点取り組み	・新しい参加団体の開拓（プログラムを人材バンクで公開） ・参加団体が他の団体のプログラムを知る機会の提供 ・多人数（100 人超）や熱中症対策に関して検討する。												
2020 年度計画													
項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
参加団体		募集 説明会	実施決定	実施 (夏休み期間)		反省会							
市の担当課、児童会室	打合せ		児童会室 希望集約										
当センター	打合せ		ボランテ ィア募集	実施見守り確認 (夏休み期間)		反省会							

〔成果〕・今年度は、コロナ禍で、学校の休校などがあり、夏休みが大幅に減少したため、本事業を実施することが不可能となり、委託事業として契約できなかった。

〔課題〕・今年度は事業実施がなくなったが、担当課の放課後こども課とは連絡をとり、本年度の予算を引き継いで、次年度は実施できるように、打合せをしていきたい。

事業名	自主事業						事業担当	運営委員、職員				
事業目的・趣旨	センターが目指すべきミッションの達成に必要な事業および自主財源の確保に必要な事業											
本年度 重点取り組み	・地域貢献 NPO サポートファンド事業 ・若者引きこもりネットワークへの参画 ・中間支援ネットワークへの参画（関西支援センターネットワーク K N N ・北摂支援センターネットワーク）											
2020 年度計画												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域貢献 NPO サポート ファンド事業（ふれあいファ ンド）実施の検討				運営委員 会で協議			→	理事会で 審議	募集開始	1 次選考		
フェスティバル協議会	毎月 1 回運営委員会、 3 月に定時総会（※4 月～9 月まで運営委員会は中止）											
コミュニティ備品管理	随時対応（※4 月～9 月まで利用なし）											
講師派遣				7/21(松元) 「 SDG s de 地方創 生」ファシ リテータ ー派遣								
若者ひきこもり ネットワーク			定例会 中止		定例会		定例会		定例会		定例会	
中間支援ネットワーク参加	必要に応じて会合開催、 Zoom によるネット会合など											
						9/24KNN 情報交換 会	10/9KNN 会計勉強 会					
法人管理（理事会・総会）		5/20 2019 年度 第 5 回 理事会 定時総会 【書面表決】		7/1 2020 年度 第 1 回 理事会				11/30 第 2 回 理事会				3/23 第 3 回 理事会

〔成果〕・今年度は、コロナ禍で、上期は中止になった会議が多かったが、当法人の理事会、定時総会は、書面評決と委任状で実施できた。

・コロナ禍ではあったが、昨年度、ファシリテーターの資格を取得した松元氏が、東海大学付属大阪仰星高等学校に、講師として派遣できたことはよかった。

・休止していた「ふれあいファンド」を再開し、5 団体 7 事業の応募あり、企画提案型で 2 事業、実績評価型で 1 事業が選出された。

〔課題〕・ふれあいファンドの選考が年度内に終了することができなかった。（4/6 に 2 次選考、4/17 運営委員会で決定。）久しぶりに実施して課題が多く見つかったので、再度、ふれあいファンドの実施について検討する委員会を構成すべきだと思う。

第19期貸借対照表

令和3年3月31日現在
特定非営利活動法人
ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1 流動資産		1 流動負債	
現金預金	22,776,808	未払金	3,385,939
貯蔵品	160,200	前受金	223,000
未収入金	5,469,206	預り金	27,379
前払金	39,340	仮受金	138,850
仮払金	34,030	未払法人税等	347,700
		未払消費税等	921,000
流動資産合計	28,479,584	流動負債合計	5,043,868
2 固定資産		III 正味財産の部	
什器備品	118,084	前期繰越正味財産	22,086,228
		当期正味財産増加額	1,467,572
		正味財産合計	23,553,800
固定資産合計	118,084		
資産合計	28,597,668	負債及び正味財産合計	28,597,668

第19期 活動計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

特定非営利活動法人
ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科目	予算額 ①	決算額 ②	差異 ②－①	備考
I 経常収益				
1 受取会費	400,000	298,500	-101,500	
2 受取寄附金	50,000	9,354	-40,646	
3 事業収益				
受託金事業収益	36,285,395	36,242,964	-42,431	
事業収益	200,000	120,450	-79,550	防災・講座・機器利用料他
販売収益	100,000	31,900	-68,100	防災
4 補助金収益				
枚方市補助金収益	650,000	650,000	0	NPO情報発信イベント事業
5 助成金収益	0	0	0	
6 その他収益				
受取利息	300	136	-164	枚方信用金庫他
雑収入	0	0	0	
経常収益計	37,685,695	37,353,304	-332,391	
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費				
給料手当及び賞与手当	25,584,695	24,687,522	-897,173	
法定福利費	2,000,000	1,832,208	-167,792	
福利厚生費	252,000	365,388	113,388	中退共、見舞金他
人件費計	27,836,695	26,885,118	-951,577	
(2) その他経費				
仕入高	100,000	36,630	-63,370	
広報費	200,000	151,205	-48,795	
旅費交通費	493,000	175,320	-317,680	
通信運搬費	243,000	228,227	-14,773	
消耗品費	914,000	745,181	-168,819	
事務用品費	360,000	1,395,142	1,035,142	パソコン、プリンター、空気清浄機等購入
賃借料	414,000	55,254	-358,746	
修繕費	40,000	33,000	-7,000	
保険料	136,000	155,220	19,220	
支払手数料	9,000	24,526	15,526	
図書費	30,000	38,949	8,949	
会議費	172,000	265,970	93,970	
外注費	1,940,000	1,475,225	-464,775	
その他経費計	5,051,000	4,779,849	-271,151	
事業費計	32,887,695	31,664,967	-1,222,728	
2 管理費				
(1) 人件費				
給料手当及び賞与手当	1,460,000	1,279,720	-180,280	
福利厚生費	28,000	20,000	-8,000	
人件費計	1,488,000	1,299,720	-188,280	
(2) その他経費				
旅費交通費	13,000	3,120	-9,880	
通信運搬費	100,000	50,938	-49,062	
租税公課	45,000	40,600	-4,400	
消耗品費	60,000	45,423	-14,577	
事務用品費	100,000	0	-100,000	
賃借料	260,000	13,700	-246,300	
支払手数料	1,000	39,464	38,464	
減価償却費	80,000	88,560	8,560	
会議費	41,000	36,249	-4,751	
慶弔費	40,000	0	-40,000	
雑費	570,000	572,391	2,391	
法人税等	350,000	347,700	-2,300	法人税等
消費税等	1,650,000	1,682,900	32,900	消費税等
ふれあいファンド	299,000	0	-299,000	
社会企業家	121,000	0	-121,000	
エコポイント寄付	40,000	0	-40,000	フェスタ、防災学校、消耗品
その他経費計	3,770,000	2,921,045	-848,955	
管理費計	5,258,000	4,220,765	-1,037,235	
経常費用計	38,145,695	35,885,732	-2,259,963	
当期正味財産増減額	-460,000	1,467,572	1,927,572	
前期繰越正味財産額	22,086,228	22,086,228	0	
次期繰越正味財産額	21,626,228	23,553,800	1,927,572	

財務諸表の注記

- 1 重要な会計方針
 - (1) 財務諸表の作成は、NP0法人会計基準によっています。
 - (2) 固定資産
 - ① 計上基準
30万円以上で1年以上使用見込みのものを固定資産に計上しています。
 - ② 減価償却の方法
定額法により減価償却を実施しています。
 - (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。
- 2 減価償却累計額 1,768,214円
- 3 保証債務、担保提供資産はありません。

第19期 財産目録

令和3年3月31日現在
特定非営利活動法人
ひらかた市民活動支援センター

(単位：円)

科 目 ・ 摘 要		金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
現金手許有高		330,355
普通預金枚方信用金庫本店営業部		14,844,964
普通預金枚方信用金庫星ヶ丘支店		100,000
普通貯金星ヶ丘郵便局		118,150
郵便振替		1,976,483
普通預金枚方信用金庫本店営業部 (エコポイント用)		965,012
普通預金枚方信用金庫本店営業部 (ふれあいファントム用)		883,289
普通預金枚方信用金庫本店営業部 (社会企業家用)		533,324
定期預金枚方信用金庫本店営業部		3,025,231
未収入金		
NPOサポート事業		3,824,750
サプリ村野受付業務		1,644,456
貯蔵品		
日中貿易 マスコット 600個		160,200
前払金		
スポーツ安全協会 ボランティア保険料		39,340
仮払金		
切手買置き分		34,030
流動資産合計		28,479,584
2 固定資産		
什器備品		
折紙機 デュプロフォルダー		118,080
カラーロール印刷機		1
デスクトップパソコン		1
ムラノ 紙折機		1
きぐるみ		1
固定資産合計		118,084
資産合計		28,597,668
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
3月分人件費		2,050,430
3月分社会保険料		116,664
(株)ユニバーサルシステム パソコン他		825,874
3月分経費		392,971
未払消費税等		
確定消費税		921,000
未払法人税等		
確定法人税等		347,700
預り金		
源泉所得税		27,379
前受金		
第20期会費収益		223,000
仮受金		
市民活動課 窓口還付用		82,650
スポーツ振興課 窓口還付用		56,200
流動負債合計		5,043,868
負債合計		5,043,868
正味財産		23,553,800